



## 事業名 「なかなかのまちなか 藤井寺」 ～まちなか観光の創造と交流の促進～



藤井寺の魅力が詰まった、  
世界遺産が舞台の古墳を美しイベント。



### 取組の概要

藤井寺市は大阪で一番小さい市ながら、世界遺産に登録された古市古墳群や由緒ある神社仏閣などの歴史資産が豊富  
なうえに、近年では若者に人気の个性的なお店が増え、まちなかで様々なイベントが行われるなど、新しさと古い文化が共  
存するまちの様子から、「なかなかのまちなか 藤井寺」と題した観光振興やシティプロモーションを展開しています。

2025年の大阪・関西万博を大きなチャンスと捉え、大阪観光のプラスワンの行先として来訪いただけるよう、市民協働や  
公民連携を通じたまちの魅力の磨きあげと、効果的な情報発信により、本市の知名度とイメージの向上を図りつつ、地域の  
みなさんとの交流によって、将来的な移住定住につなげていくことを目指して取り組んでいます。

## まちなか観光の創造



藤井寺市が観光地として注目されることが少なかったのは、観光するものがないのではなく、観光することが難しいからであると捉え、2021年に「観光難易度A級シティ」宣言を行い、プロモーションを開始しました。

これは、世界遺産に登録された古墳群をはじめとする歴史、文化、イベントなどの地域資源や魅力を地域の皆さんとともに磨きあげ、「まちなか観光の創造」による新たなまちのイメージの発信や定着を図ることで交流人口を増やし定住人口の増加につなげることを目指したシティプロモーションです。

これまで、私だけが知る観光スポットを市民から募集したところ、160を超えるスポットが紹介されました。これらの情報も参考に、SNSを活用した周遊キャンペーンやオリジナル観光マップの作成など、まちなか観光を楽しんでいただける新たなプロモーションを展開しています。

## 公民連携の取り組み



観光DXの推進のため、凸版印刷(株)様と連携協定を行い、デジタル商品券や音声ガイドアプリの活用による、観光+謎解きゲームが開発されました。これは、市内に広がる古市古墳群に伝わる伝説を一つのストーリーに仕立て、予備知識がなくとも興味関心を引くような内容となっており、ガイド音声には有名声優を起用するとともに、謎解きゲームをプラスすることで、歴史ファンのみならず、より幅広い層に向けたアピールにつながっています。

また、オープンストリート(株)様との実証実験では、市内周遊に役立つシェアサイクルの設置を行っています。現在市内に13カ所のポートがあり、順次拡大を予定しており、世界遺産百舌鳥・古市古墳群を共に構成する、堺市、羽曳野市にもポートがあります。点在する古墳群やエリア周遊に最適な交通手段となっていますので、大阪・関西万博のプラスワン観光として多くの方の利用を期待しています。

## 観光拠点の整備



まちなか観光周遊ルート上の拠点施設として整備を進めているのが、特徴的な外観を持つ「アイセルシュラホール」です。市内の古墳から出土した船形埴輪と修羅(古代の木ぞり)をモチーフにしたこの施設は、世代を問わず、学び集い遊び交流しあえる個性豊かな生涯学習活動を支援できる場として地域の皆さんに愛されています。

万博が開催される2025年に合わせて、1階に来訪者をおもてなしできるビジターセンター機能を、2階には古墳群の価値をわかりやすく伝えるガイダンス機能や古墳ミュージアム機能も兼ね備えた施設となるようリニューアルを計画しています。このホールが将来に渡って多くの人でにぎわい、交流できる施設となり、本市の持続可能な発展のランドマークとして多くの皆さんから愛される、魅力あふれる施設となるよう取り組んでいきます。



問い合わせ先: 藤井寺市市民生活部観光課

URL: <https://www.fujiidera-city-promotion.Osaka.jp>

Mail: [kankou@city.fujiidera.lg.jp](mailto:kankou@city.fujiidera.lg.jp)



360°EXPO拡張マップ

藤井寺市

「なかなかのまちなか 藤井寺」～まちなか観光の創造～